NPO法人　学習塾全国連合協議会　東日本ブロック

塾全協東通信

2014年（平成26年）6月号

題字：怜齋（白川亮　進ゼミ柏）

NPO 法人全国連合協議会 新役員（平成 26 年 6 月～28 年 5 月）決定

平成 26 年、5 月 18 日の東日本ブロック総会と 5 月 25 日の西日本ブロック総会及び全国総会にて、新役員が以下のとおり決まりましたのでお知らせいたします。　《敬称略》

全国会長	後田多純寿	沖縄県	津田塾
全国事務局長	中村基和	東京都	むさし野ゼミナール

東日本ブロック

理事長	沼田広慶	千葉県	北辰館スクール
事務局長	中山和行	埼玉県	中山塾
常任理事	稲葉秀雄	千葉県	私学通信社
常任理事	内藤潤司	埼玉県	ソロモン総合学院
常任理事	斎藤由紀	千葉県	明和学院
常任理事	山本太志	千葉県	四季青舎柏
常任理事	星野勝弘	埼玉県	オンフット進学会
理事	菅原明之	東京都	菅原進学教室
理事	望月玄一郎	埼玉県	OMEGA 個別指導
理事	望月重治	埼玉県	総合学習塾マインズ

西日本ブロック

理事長	山下典男	岡山県	明修塾
事務局長	村田芳昭	大阪府	共学館義塾
常任理事	長井泰次	京都府	関西アカデミー
常任理事	中村　勲	大阪府	地球塾
常任理事	福永　洋	兵庫県	Ｊ教育セミナー
理事	寺田圭吾	兵庫県	あすなろ学園
理事	藤井寿比古	兵庫県	藤井塾
理事	平野芳英	奈良県	Ｉ塾
理事	堀　泰隆	大阪府	ひのき学習塾
理事	杉山信良	大阪府	栄光塾

NPO 塾全協東日本ブロック総会、中高入試を考える会、私学と私塾の情報交換会

日時：2014 年（平成 26 年）5 月 18 日（日）13：30〜17：30

場所：中野サンプラザ

NPO 塾全協東日本ブロック総会

以下の事項が報告、承認されました。

平成 25 年度 各部局の報告と承認、

平成 25 年度 決算内容の報告と承認、

平成 26 年度 新役員選出、

平成 26 年度 事業計画の承認、

平成 26 年度 予算案の承認

NPO 塾全協東日本 NPO 塾全協東日本ブロック主催　中高入試を考える会

2002 年に始まり、今年で 13 回目を数えるこの回ですが、今年も例年通りの講師の方々にリレー講演をしていただきました。＊講演概要の書き起こしには（株）ルックデータ出版さんのご協力を得ました。

1 千葉県高校入試の状況と動向

（株）総進図書　情報企画部長　岡山栄一氏

←後ろの「中高入試を考える会」の題字はこの「東通信」と同じく、進ゼミ柏の白川亮先生によるものです

《講演概要》

現行の入試制度になって４年目を迎えた。今年の志願倍率は、前期選抜・後期選抜ともに、昨年を下回る結果となった。前期選抜については 1.83 倍で、昨年に比べ 0.02 ポイント下降した。全体では、昨年とほぼ変わらない状況といえる。前年度と同様、普通科においては、都市部と郡部の二極化が顕著であった。人気校の前期選抜は激戦を極めた。後期選抜については、志願倍率 1.40 倍で、昨年の 1.44 倍を大きく下回った。原因としては、５２０名の定員増が影響している。

定員増は下の方に偏っており、上野方は定員増があまりない。

入試問題の特色としては、数学は簡単な問題と難しい問題がはっきりしてきて、70 点から上は中々とれなく、上位者には厳しい。

来年は在籍数が 300 名減るので、定員減−どこが減るのか注目していきたい。また、現在の中 2 から前期でとる割合を 100％まで可能になるガ、教育長が変わらない限り一本化にはならないだろう。前期後期ともチャレンジする傾向が出てきて、駄目だった子が私立に行く。そういう子をケアする必要が私立にある。

2 東京都高校入試の状況と動向

（株）創育・新教育研究協会　営業部次長　穴澤嘉彦氏

《講演概要》

今春は、７年ぶりに都立高校の志望率がダウン。逆に、私立高校の志望率は 0.66 ポイントアップ。要因としては、私学に進んでも国の就学支援金・助成金を受けて負担減が期待できること、また、最近の安全志向の強い受験生が、厳しい都立の入試を避けたことも考えられる。

入試の合格率は、総合得点が 550 点以上の学校が厳しく、500 点以下の学校の学校の合格率が上がっている。

都立高校の普通科の推薦入試の応募状況は、男子は中堅上位者層から上で、女子は中堅下位者層から上で応募者が増えた。都立高校への流入が目立った。

最近の私立高校の特徴としては、上位の大学付属高校の応募者が減少傾向にあること、中堅の進学校・女子校で推薦入学の受験者が増えたこと、併願入学者が増えたこと、また、ここ数年、部活動で志望校を決める受験生が多くなったため、部活動が盛んな高校が人気を博していることなどである。併願入学者が増えたことの理由の一つは、都立の一次で落ちた生徒には半強制的に併願高に入学させ、二次募集は受けさせないという進路指導が行われていることだ。

継続検討事項としては男女別定員の問題がある。合同で受験をしている学校では女子の比率が圧倒的に高い。例えば芦花高校では男子対女子の割合が 45：55 から 18：82 になってしまった。

新しい制度については「平成 28 年度都立高校入試改革」が、現在の中学２年より実施されることが決定した。変更点は、一次募集は全５教科で実施すること、学力検査と調査書の比率は７：３で、学力選抜重視で行われるなど。調査書の内申は、実技教科が２倍となる。

3 首都圏中学入試・公立中高一貫校入試の状況と動向

（株）森上教育研究所　代表　森上展安氏

《講演概要》

リーマンショック以降、中学入試の受験者数は減少が続いている。しかし、景気の回復に伴い、減少幅が少なくなってきた。倍率はＡランクでも減っていてＢ、Ｃランクでは一番高いところでも 2.2 倍で受けやすい入試になっている。15 年度入試は、受験者数が横ばいから増加に転換する、大きな節目となる可能性がある。受験生・保護者のニーズについても、ひとつの転換期にきている。　就学支援金は有用だ。開成高校では、ある一定の年収以下の家庭を対象に、学校に基金を設けて経済的に支援する制度を作った。こうした制度を、ほかの学校でも実施する意義は十分にある。経済的な問題が解決すれば、高校受験はもっと活性化するし、それにつれて中学受験の質もアップするはずだ。

定員が少なくて共学化した学校、学校改革をして再出発した学校。今の入試状況、受験生や保護者のニーズに合わせて、学校の改革をしたところは生き残っている。私立校は私立らしさを生かしながら、もう一度、

戦略を練り直さないといけない。今は大学の看板だけでは生きていけないのが現実だ。

学校で午前中の正課だけではなく、夕方も預かってほしいと親は願っている。ＮＰＯは、学校の中に入って、子どもたちを支援することができる。和洋九段女子高等学校が、校内に自習室と食堂を作った。今は母親が夜も働いていて、家にいない家庭が多い。食事も出す、勉強も見るというような方向性がないと、これからの学校は取り残されるだろう。学校はぜひ、受験生や保護者の新しいニーズをつかんで、それを具現化してほしい。

4 埼玉県高校入試の状況と動向、総括

岩佐教育研究所　代表　岩佐桂一氏

《講演概要》

公立高校の無償化、私学の就学支援金が注目される中、これまで全生徒が対象だった就学支援金に、年収 910 万円未満という限度額が設定されることが決まった。さらに埼玉県では、独自に「父母負担軽減事業」として、年収 609 万円未満の家庭には 133,200 円、さらに入学金支援金として 10 万円を支給している。この支給は、埼玉県在住者が県内の私学に進学したときのみで、これによって、現在、埼玉県内の私学は、平均で約 105%定員超過しているという。

一方、今春の公立高校の平均倍率は 1.18 倍、前期・後期制の頃と比べ、不合格者が増加の一途をたどっている。特に今春は、不合格者が 7,000 人を超え、過去 10 年間で２番目に多い記録となった。しかし、入試の一本化は、私学にとっては悪いことではなく、受験生にとっても精神的な負担が軽くてすむメリットがある。

埼玉県の今春の入試の特徴としては､記述問題が大幅に増加したことがあげられる｡配点ベースでは72.4%までが記述問題であり、選択問題はわずか 28%に過ぎない。記述式に対応できない生徒は淘汰される結果になる。また、学習指導要領の改定で膨らんだ部分を取り入れるのが埼玉の特色となっている。

また埼玉県では、入試改革も水面下にて進行中で、センター試験の到達度テスト移行への対応や、国・数・英の３教科型の入試の是非なども、慎重に検討が進められている。

憲法で「義務教育はこれを無償とする」とあるが、私学はこれに含まれておらず、明らかに憲法違反である。また埼玉県や千葉県の生徒がその県の私立高校に入学する場合は県から大きな補助が出るのに東京の私学に行く場合は出ないのも問題だ。

講演終了後、ブリティッシュ・ヒルズのブライアン・ルイス氏より英語で説明がありました。

NPO 塾全協東日本 NPO 塾全協東日本ブロック主催　私学と私塾の情報交換会

→岩佐桂一氏の音頭で乾杯！

開会の挨拶をする後田多純寿 NPO 塾全協全国会長←

←私学の校長先生方の挨拶

塾と教育社 第1回の民間教育大賞で民間教育最高功労賞を受賞された浅間雅之先生（NPO 塾全協会員塾マインズの前社長、現参与。NPO 法人ゆめねっと副理事長）の受賞お祝い←として花束が贈呈されました。

←↑フィナーレは、ゲストの歌手渡邊重信さんのリードで「また逢う日まで」の大合唱。
実行委員長の斎藤先生、ご苦労様

NPO 塾全協　平成 26 年度全国総会

日時：平成 26 年 5 月 25 日(日)　PM3:30～4：30

場所：サムティフェイム新大阪

↑全国総会に先立って西日本ブロック総会が開かれました。

↑全国総会で挨拶する後田多純寿全国会長

全国総会では、平成 25 年度 各部局の報告と決算内容の報告がなされ、承認されました。そして全国会長、全国事務局長が選出され、新役員が承認されました。(p.1 参照)そのあと平成 26 年度 事業計画と予算案が提出され、承認されました。最後の「その他議案に関する審議」では沼田東日本ブロック理事長からブリティッシュ･ヒルズの視察会の案内と山本理事から NPO 塾全協のホームページに関する説明がなされました。西日本と東日本のホームページを統合し、リニューアルすることによって費用が削減され、その他会員塾にとってもプラスになる企画があるとのことでした。新しいホームページは現在作成中で、近日中に具体的にお知らせします。

↓総会終了後の懇親会

東日本ブロックのあるメンバーは「懇親会で西日本ブロックの会員の方々と色々と意見交換をすることができてよかったです。東西を隔てる壁などとっくに無くなっている事を実感しました。会長の塾で毎年恒例となっている入試直前総チェック『ダイナマイト 1500』の合同実施計画も楽しみです。」と語っていました。

理事会議事録　［敬称略］

議長　沼田、記録　　中　山

日時：平成 26 年 5 月 14 日（水）　　午前 10 時 30 分～午後 12 時 30 分

場所：池袋ルノアール　第 1 会議室

出席：沼田（理事長）、稲葉（副理事長・進学対策局長）、内藤（副理事長・研修局長）　菅原（全国事務局長）、斎藤（事業局長）中村（事務局・広報局長）、山本（財務局長）、星野（千葉支部長）望月（埼玉支部長）中山（事務局次長）　以上 10 名の出席

次頁につづく⇒

審議、報告事項　（敬称略）

【理事長挨拶】

本日は 5/18 と間近に迫った東日本ブロック総会・中高入試を考える会・その後の懇親会、25 年度決算報告・各支部からの報告、連絡事項が主な議題である。

【連絡事項】

①5/13（水）　田中瑞穂先生の米寿のお祝い　　沼田　山本　中村

②5/18（日）　東日本ブロック総会・中高入試を考える会・私学と私塾の新年度情報交換会
　　東京都私立中学合同相談会　有楽町　東京国際フォーラム

③5/25（日）　西日本ブロック総会・全国総会

④6/1（日）　組合連合会　全国大会⇒参加予定　沼田・内藤

⑤6/9（月）　これからの学習塾における英語教育　　御茶ノ水

⑥6/15・16　ブリテッシュヒルズの視察会

【東日本ブロック総会・中高入試を考える会】

5/18（日）　中野サンプラザ 7F 研修室 10

役員集合　13:00

13:30～14:30　東日本ブロック総会

司会　稲葉副理事長

理事長挨拶：（沼田広慶）

議事　：議長団（議長、書記）選出

第１号議案　平成２５度事業報告　各担当役員及び事務局長

第２号議案　平成２５度会計報告（会計担当役員）

※質疑応答後に第１号議案及び第２号議案の承認を受ける。

第３号議案　新年度役員選挙［５名連記の投票用紙を準備→中村］

（１）選挙管理委員選出

（２）理事長選出　　［投票用紙を準備→中村］

（３）常任理事選出（７名）

第４号議案　平成２６年度事業計画及び予算案（新理事長）

15:00～16:50　中高入試を考える会

14:30 から受付開始

1. 開会の辞　　沼田理事長
2. 会長挨拶　　後田多全国会長
3. 来賓挨拶　　大島九州男参議院議員
4. 講演　講演者　岡山栄一氏（総進図書営業部）
　　穴澤嘉彦氏（新教育研究協会営業部次長）
　　森上展安氏（森上教育研究所所長）
　　岩佐圭一氏（岩佐教育研究所代表）
　　ブリテッシュヒルズの紹介

タイムキーパーを配置する

17:30～19:30　　「私学と私塾の新年度情報交換会」

会場　中野サンプラザ 13F

司会　斎藤（事業局長）（菅原全国事務局長）

１．開会の挨拶
２．会長挨拶
３．来賓挨拶
４．塾全協　新役員紹介
５．乾杯
　食事をしながら懇談
　ご来場の校長先生のご紹介
　余興　ゲストによる歌
　名刺交換
６．後援団体挨拶
７．閉会の挨拶

【進学相談会】

東京　　9 月 15 日（祝）
千葉　　9 月 23 日（祝）
埼玉　　9 月 28 日（日）

【財務局】

・各行事の収支報告と今年度の決算着地予想の報告
　今月中に税務チェック

【千葉支部】6 月 2 日に研修会を実施する。

【埼玉支部】

第３回実行委員会・支部会は 5 月 22 日(木)に予定。
その際、支部会として教材についての情報交換をおこなう

次回理事会は　2014 年 6 月 11 日（水）午前 10 時 30 分～午後 12 時 30 分
場所：　ルノアール池袋パルコ横店　第１会議室

NPO 塾全協東日本ブロック　今後の主な予定(2014 年)

6 月 15～16 日（日～月）ブリティッシュ･ヒルズ視察会
進学相談会　9/15 東京、9/23 千葉、9/28 埼玉
11 月 3 日（祝）全国研修大会（東京）＊前夜祭も予定

編集 NPO塾全協東日本フロック 事務局長・広報局長 ・東京支部長　中村基和
〒164-0013 東京都中野区弥生町5-5-11 むさし野ゼミナール内
TEL 03-3381-6775　FAX 03-5385-4833　E-mail　nozemi.nakamura@nifty.com